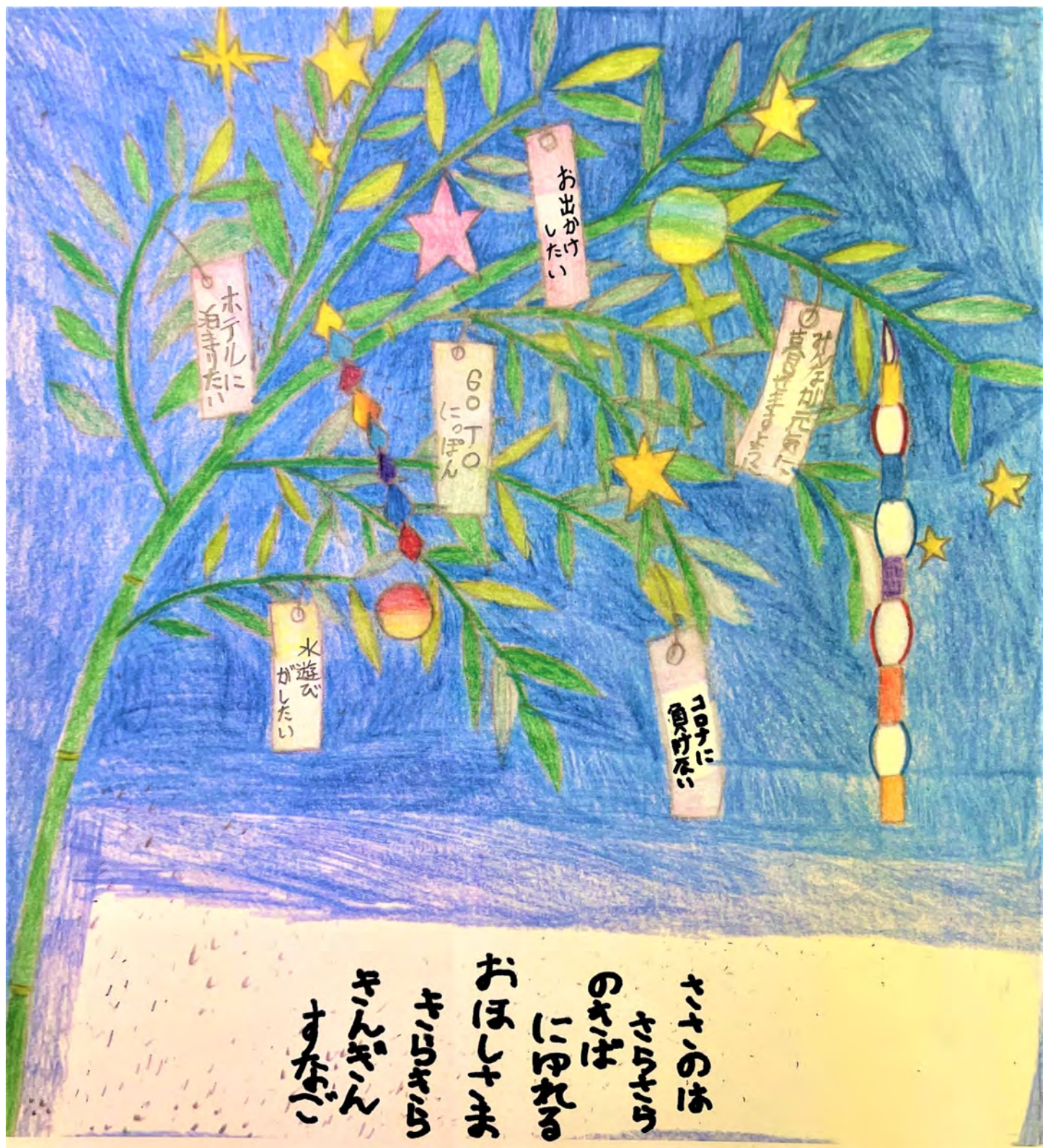




なわて更生園 スタッフ紹介



♪昨年度入職された 吉岡さん、丸川さんへインタビュー♪

なわて更生園に昨年度入職されたお2人に近況を伺いました。

Q1. さてお2人とも現場に出られて1年近く過ぎましたが、環境には慣れましたか？

丸川／一日の流れは慣れましたが、それでもまだまだ個別ケースなどわからない事も多いです。

吉岡／私も仕事には慣れてきましたが、個々のニーズなど把握しきれていないので、時には困る事もあります。

Q2. そうですね、まだ1年未満ですもの仕方ないですよ。ところでお2人は転職組ですが、仕事の中で面白いなあと感じることはありましたか？

丸川／利用者さんとお話をさせていただく時間が一番面白いです。みなさん明るく接して下さるので、私の方が元気をいただいています。明るい気持ちで日々の仕事を迎えるのでとてもありがたいです。

吉岡／同感です。私のようなものにもみなさんが元気よく挨拶を返して下さるので、やりがいを感じます。お話をさせていただいても良い反応をいただけるので嬉しいです。

Q3. なるほど。ではお聞きしますが、前の仕事と今の仕事の違いは何だと思えますか？

丸川／以前はアパレルの販売員をしていましたが、その際は、お客様の事を知っておく事が大切でした。支援員の仕事は、それ以上に利用者さんおひとりおひとりの歩んで来られた過去や抱えておられる事情など対応させていただく上で、知っておくべきだと実感しています。

吉岡／私の場合は前職が高齢者施設での介護でしたので、1番の違いといえば皆さんお元気良く日常生活を送られているという点です。当たり前といえばそうですが、やはり若さでしょうか、お元気に感じます。



(吉岡 康仁)

(丸川 皓平)

記者／ありがとうございました。今の気持ちを忘れずこれからも頑張ってください。

(松浦 宏昭)



新年度ニューフェイス

がんばってる

この度、4月からなわて更生園へ入職しました。

私の趣味は落語・将棋・読書・美術観賞・野球観戦です。落語は小学校2年生の時に、柳家喬太郎という落語家に影響を受け好きになりました。大学の卒業論文では、落語の原点と言われている安楽庵策伝の「醒睡笑」を題材に選びました。高校生の時に生徒会役員の行事で寝屋川支援学校交流会に参加し、その時に福祉の仕事に関心をもったのが入職のきっかけでした。

まだ、社会人になりたてで経験も浅いですが、これから仕事を覚えて利用者さんの心に寄りそって精進していきたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。

(池田 郁)



私たち戻ってきました～♪

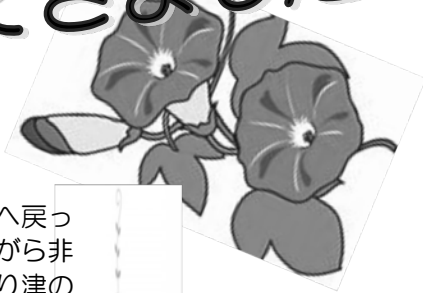
4月から18年ぶりになわて更生園へ戻って来ました。この18年は子育てしながら非常勤として勤務させて頂き、3年前より津の辺で常勤としてお世話になりました。

ご縁があって、20歳のころより四條畷福祉会で働かせて頂いて〇十年？私も当時、わが子のためにと尽力され四條畷福祉会を設立された保護者の方々と同じ年代になっていました。

まだまだ未熟者ではありますが、その思いを忘れることなく、利用者の皆様が安心して充実した毎日を送れるよう一緒に過ごしていきたいです。

コロナ禍でまだまだ大変な事も多いですが、昨年30周年を迎えたなわて更生園と共に成長できるように頑張ります。よろしくお願いします。

(横川 恭子)



9年前の2月、雪が積もっている山道を歩きながら初めてなわて更生園へ来ました。それ以前は1日が終われば家などへ帰るということが当たり前の通所の事業所で働いていました。入所者の皆さんが昼夜、同じ場所で過ごし活動が終わっても帰らないという生活の場、私が帰る時「また明日ね～」と送り出され何だか不思議な気持ちでした。

1年を過ぎた頃に津の辺へ異動し自主製品や日中活動をしながら4年、そして四條作業所で仕事中心の活動を4年、8年ぶりに戻って来ました。

利用者さんの顔ぶれも随分かわり高齢化となり私も年をとりましたが、これからも安全で安心して、笑顔で落ち着いた生活をしていただけるように頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

(花村 昭子)

しあわせな散歩道

3月のある日待ちに待った1日クラブ外出の予定でしたが、感染症対策で自粛プランに変更しました。美味しいお弁当を食べた後、この日は晴天で散歩日和でしたので近辺にある「宝蔵寺」まで歩いていきました。

早速、玄関を出て歩いていると園庭に咲いている水仙と色々な花が春風と一緒に気持ち良さそうに揺れていました。

「サクラ～サクラ～♪」と歌うと、Iさんから「パーン、パーン」とあれ!? Iさんは花よりパンが好きなんですね(笑)

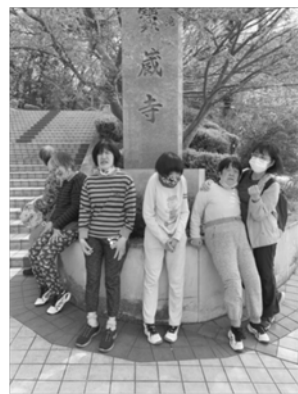
Uさんは一度も足を休むことなく、「えーわ、えーわ」と嬉しそうでした。Kさんは「また行こうなあー」と足取り軽くスタスタと元気いっぱいでした。そんな会話をしていたら、あっという間に宝蔵寺に到着。

私達を出迎えてくれたのは、満開の桜と四條畷の景色が一望に輝いており、春らしく温かい雰囲気私たちに演出してくれていました。そんな風景の中で飲んだ、ぶどうジュースは最高に美味しかったです。みんながゴクゴクと飲んでいると、理事長が車で通られて、私達のジュースの飲みぶりに「いいなあーワシもほしいなあ」の声かけに、Iさんは口に手をあてて、「ご・め・ん」と仰っていました。たわいもない会話の一コマに何か癒されました。

「さぁーなわてに帰ろう」「がんばろう」と声をかけながら坂道を歩いていると、Kさんのお知り合いの方とお会いし「がんばってね。元気で過ごしてね」とお言葉を頂き、みんな笑顔で「しあわせな散歩道」となりました。

これからも皆様にしあわせを届けられますように笑顔でしあわせな散歩道を歩いていきますね。

(疋田 早苗)



なわて通所生まれかわります！！



ご挨拶が遅くなりましたが、今年度より通所担当になりました神田と申します。よろしくお願いします。

現在コロナ禍もあり、手作り工房で活動をしています。通所の活動内容を、ご存じでない方も多いと思いますのでご紹介させていただきます。午前の活動では、受託作業のフックボルト、自立課題としてプットイン、積木並べ、ネジ巻きなどで、午後からは車で公園へ出かけて散歩をしています。

今年度からは、新しい活動として月に2回の調理実習と、おやつ作りをしていく予定です。また、手作り工房横にある農園を使用し、野菜とお花を植えて畑を活用していきたいです。現在は雑草が多く畑が荒れていて、最初は草むしりから始めないといけない状況です。まだまだ時間がかかると思いますが、最終目標として農園で出来た野菜を使用し調理を予定しています。お花は津の辺で作っている紙すきの紙を使用し、それを押し花にして栞を作成出来ればと考えています。また創作活動として折り紙、ちぎり絵、絵を描く事も頑張っていきます。出来た作品は作品展などで外部にも発信できたらと考えています。昼からは天候にもよりますが、毎日散歩に行く事を継続していきたいと思っています。私も含めてみなさんと運動不足に気を付けて、健康的な体作りを目標としていきたいです。

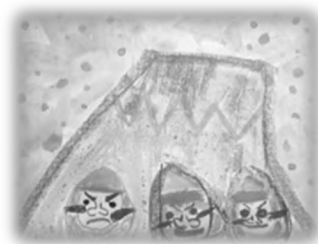


天気いいね♪

(神田 卓哉)

皆さんの発見☆ みなみの工房

前回は、おやつ作りの様子を報告しましたが、金曜日は、「普段と違う楽しみがあればいいな」のニーズに応えるべく調理や絵画等を企画しています。今回は「絵画」の取り組みについて報告したいと思います。



昨年まで絵画教室の先生から指導を受けていましたが、コロナ禍の影響もあり、中断せざるを得ない状況となりました。しかし、絵画の時間を続けたい思いから、指導後も職員が力を合わせて「絵画の日」の活動を継続しています。

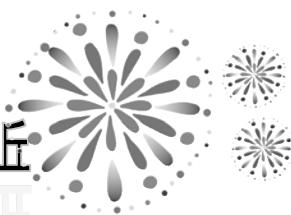
季節の事や食べ物、動物等、テーマを1つ決め、クレヨンで描き、絵の具で仕上げます。完成した絵には個性や性格がたくさん現れます。絵を描いている過程を楽しみ、出来上がった作品を最後に発表しあいます。絵を見てから「色使いは本当に素晴らしい」「筆圧がエネルギーで凄い」「今日の絵はノリノリ！」と前向きな感想がいっぱい出るその時間がおもしろくていい感じです。絵画教室の先生から「一生懸命につくったモノは人を感動させ、人の品格を下げない拠り所にもなるよ」と聞かせて頂きました。「こんな感じで中々絵は描けないからすごい」と、所内で飾る毎月の絵を楽しみにされている地域の方もおられます。市役所の窓口にも絵を飾らせて頂いたりしていますので、是非利用者さんの絵からパワーを感じて頂けたらと思います。



(上原 和人)

ある日の相談員のつぶやき

障害者相談支援センターしのぶが丘



少し前になりますが、とある研修会に参加した際に少々、面白い切り口で講演されていた事がありましたので、今回はそれについて書こうと思います。それは“介護保険制度”と“障害者総合支援法”における制度の違いという、よく目にするテーマですが、詳しく紐を解くと意外な気付きがありました。

まず、介護保険制度とは「尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう必要な給付を行う」(介護保険法第1条)とあり、自立した日常生活を営むために、ケアマネジャーは相談支援を展開していくという事です。一方、障害者総合支援法は「基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な給付を行う」(障害者総合支援法第1条)となっており、障害福祉サービスは社会参加も含めた広範な領域にも支援を行う事となっています。そして、ここで特筆すべきことは障害の方には“社会生活”という文言が入っているのですが、高齢の方にはそれが無いということです。簡単な例を挙げると障害福祉には“移動支援”というガイドヘルパーと一緒に外出して、余暇活動をサポートするといったサービスがありますが、高齢福祉にはそういったサービスがありません。

しかし、これはどちらの方が優れているというわけではなく、両方ともケアマネジメントの手法に則って、その人に合ったライフプランを構築していく事がもっとも大切だということを示しているのだと思います。

(田中 敏)



つるみの郷の研修を受けて

GH



アルコールや手袋が安定的に入手できるようになり、次はコロナ対応に向けてグループホームで必要となる物は何かを考え準備を進めている中で、今回の研修に参加しました。つるみの郷にてクラスター発生から終息までの取組みは自分の想像をはるかに上回る内容でした。改めて備えと予防と正しい知識が必要であることを学びました。講義の後半では防護服の着脱を体験する事により、狭い視野で支援することの大変さや暑さ対策が必要となる事などを知ることができ、漠然と頭の中にあったコロナ対応とは違う意識を持てる様になりました。

クラスター対策に向けて一度にすべてを備える事は難しいですが、まずはできる事から着実に進めていき、有事の際は今回講義して頂いた内容を活かせるよう各事業所で協力し合い、この難局を乗り切っていきたいです。

コロナ発生から一年以上経ちました。利用者さんは余暇を楽しむ活動にほとんど参加出来ず変化の少ない毎日を過ごされています。クラスター対策も必要ですが、法人の誓いの一つである「利用者のしあわせづくり」の為に支援者として今何ができるのかもしっかりと考えていきたいと思っています。

(木村 武志)



深北 in 春ウォーク

津の辺

去る3月29日(月)に日中活動の中で春ウォークを実施しました。前日は春の嵐とも言われる悪天候で桜が散っているのではないかと心配しましたが、満開で気候にも恵まれ桜を見るという日にはとても良い1日でした。普段感染症対策として密にならないように散歩は行っていますが、津の辺全員で何かをするという事は久しぶりのことでした。1か所に集まることは難しい状況でしたが、全員が深北緑地を歩いているという喜びと、感染症対策が必要なことから消毒・距離をとる・短時間という事を心掛け、休憩時には少しでもお花見気分を味わえる様におやつを食べることができました。約1時間半という短い時間でしたが楽しく過ごすことができました。次回秋ウォークが実施できることを願うばかりです。

(福留 真二)



今までありがとう！！

17年間おつかれまでです

津の辺開所から17年が経ちました。津の辺には送迎車両、運搬車両(実習活動に利用)の計8台車両があり、その中でも開所年度から17年間活躍してくれているランディーという車両があります。軽サイズより少し大きめですが、狭い道でも余裕で通ることができ、最大のメリットはコンパクトながら7人乗



りということです。また、利用者さんのなかにはファンも居られ「ランディーに乗りたい」という声も日々沢山頂いています。エンジン交換(リビルト)など、他にも難易の修理を行い、日々活躍してもらっていますが年々修理箇所も多く老朽化が進み悩み悩んだ結果、次回車検(令和4年3月)満了前に廃車する事に決まりました。残り限られた時間ですが、「長い間お疲れ様でした」という感謝の気持ちで乗らせて頂きます。

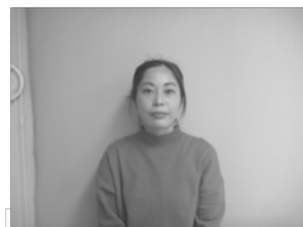
(福留 真二)



新スタッフ紹介

4月より、なわて更生園から津の辺に異動となりました、谷中(旧姓:安藤)です。毎朝、利用者さんが「おはよう!」と優しく声をかけて下さり、「今日も一日楽しく頑張ろう!」と元気を頂いている毎日です。入所施設とはまた違った環境ですが、今まで経験させて頂いたことを活かせるよう、心機一転頑張っていきたいと思っています。利用者さんと毎日楽しく過ごしたり、時には一緒に悩んだり、目標が達成出来た時は一緒に喜びたいです。皆さんに色々教えて頂き一日でも早く慣れていけるよう努めて行きますのでよろしくお願いいたします。

(谷中 千恵子)



4月より津の辺で勤務することになりました。クラブ活動で同じ班だった人は覚えてくれていますか?これからは皆さんと楽しく過ごしたいのでよろしくお願いいたします。

(堀内 良昭)



四条作業所

仕事をする場としての役割



法人内で「仕事をする場」という位置づけで日々取り組んでおります。作業所支援員として心がけていることは、利用者さんのできる・できないなどの1人1人の特性に応じて複数の作業や工程から自分で仕事を選ぶことを提供することです。そのためには様々な作業内容の提供が必要とされ、日々取引先や作業内容を準備しています。利用者さんの中には地道にコツコツと作業をされる方、短期集中型の方、マイペースにされる方などその人にあった作業内容を提供しています。また、いつでも作業内容の変更や、ステップアップさせて頂くことも意識して取り組んでいます。

近年はコロナ禍で作業内容の提供に関して一層の工夫が必要とされ、より作業場や日中活動の場所をわかりやすく構造化し、密を防ぐべく場所の細分化を行うとともに、見ただけで作業内容や活動内容が分かるように視覚的な支援も取り入れ、過ごしやすい工夫をしています。

その中で協調性を育み協力して、一つのことを生み出すということを大事にし四条作業所で活動する誰もが人の役に立ち、人に必要とされ、生きがいをもって働きたいと思えるような事業所を目指していきたいと考えています。

(山本 秀明)



ニューフェイス紹介

4月より四条作業所に勤務することになりました。2年越しの五十肩にやっと快復の兆しが見えてきました。皆さんと一緒に作業を頑張りたいと思っています。

(坂田 裕美)



部屋作業所

たこ焼き器でお菓子作り

今回の余暇支援はお菓子作り（ベビーカステラ）に挑戦。作り方はかんたん。ホットケーキミックスに卵、はちみつと牛乳を入れて生地を作り、タコ焼き器で焼くことで完成です。まず利用者さんにはホットケーキミックスを混ぜて頂きましたが、手でこねようとしたり道具を使ったりと色々な混ぜ方をされて、その間粉が外に飛びハブニングもありましたが、笑顔で楽しそうに参加されていました。他にも利用者さんには焼きあがったベビーカステラにとけた粉末のチョコレートをつけたり、ポップシュガーやアボロチョコレート菓子でお皿に飾り付けをして頂きました。

最後はコーヒーと一緒に試食。ご自身で作ったカステラは甘くて美味しかった様で、笑顔でおかわりする利用者さんの中にはいらっしゃいました。

コロナ禍の中、皆で喫茶店に行くこともできないので、少しでも雰囲気味わってもらいながらおやつ時間を過ごしました。

(小野 浩史)



ニューフェイス紹介

4月より部屋作業所で勤務することになりました。昨年から感染症対策で各所での参加となっていますが、以前実施していた3事業所のクラブ活動で殆どの方と顔見知りです。今後も皆さんと楽しく毎日の日課に取り組みたいと思っています。

(元田 和文)

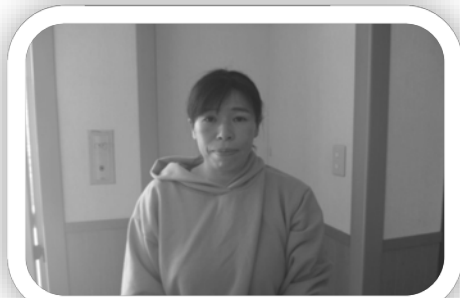


医務室たより 新しい看護婦さんのご紹介です♪

3月より、なわて更生園で看護師勤務をさせて頂いております、山田と申します。医務室での看護師としての仕事が、最初は全て出来るのか不安でしたが、とても丁寧に教えて頂くことで、少しずつ不安も安らぎ、日々様々な事を学ばせて頂いています。

一般病院や健診業務、産科、そして就労支援B型、生活介護で出会った素直で透明な利用者さんの心に触れ、学んだ事や経験を少しでも活かして、今回、なわて更生園利用者さん、スタッフの方々と共に楽しく充実感を感じて働ける様、日々の学びと努力で精進していけたらと思っています。

趣味は和太鼓と篠笛でお祭り事やイベントは大好きです。少しだけバイクも乗ったりしています。これからも、たくさん利用者さんと触れ合いを持ち、役に立つ事が出来たらと思います。よろしくお願い致します。
(山田 綾子)



今春より、津の辺で看護師として月・火・水・土曜日に勤務することになりました。まだまだ日々の業務に追われる日々ですが、1日も早く利用者の皆様が安心して、日中活動に取り組めるお手伝いができるように頑張りたいと思います。

(小田 雅美)

なになにレシピ

夏がやってきました♪ほとんど火を使わずに簡単に作れて、疲労回復に効果的な鶏ムネを使ったレシピのご紹介です。

☆鶏肉の温サラダ

材料(4人分)

鶏肉(ムネ) 1枚

砂糖 大さじ1

キャベツ 300g

カレー粉 大さじ1/2

しょうが ニンニク 塩 コショウ 片栗粉少々



○作り方

- 1 鶏肉に砂糖をもみこみ、沸騰しているお湯で1~2分ゆでたら、火を止めそのまま冷ましておく。触れるくらいに冷めたら7mmくらいのそぎ切りにする。この時火が通っていなければ軽くレンジをかける。(少しゆで汁をかけてラップをする)
- 2 キャベツを1cm幅に切り、1分くらいゆでる。
- 3 鶏のゆで汁1カップに刻んだしょうがとニンニクを加えて火にかける。沸騰したらカレー粉、水溶き片栗粉を加えてとろみがついてきたら火を止め、塩コショウを振り入れる。
- 4 ①と②を盛り付け、③をかける。

※キャベツ以外にも、たまねぎやピーマンなど余っている野菜を加えてもおいしく食べられます。

※カレー粉がなければカレールウで代用できます。カレールウを使う場合、とろみの具合によって片栗粉を調整してください。

(今回はカレールウを使用しました。残ったカレーを鶏のゆで汁で伸ばしても代用できます)

あじ変にマヨネーズを混ぜてもOKです。

(正長 治)

現在のわが子への思い ～成長と共に～



平成25年11月入所直前、父親は「淋しいな」と話し母親の私は「あー良かった、淋しい、あの子は大丈夫だろうか」と複雑な心中でした。環境の変化で不安定になる息子にハラハラしながらも、段々と笑顔の息子に会える時が増え「なわてに慣れてきたんだ！」と嬉しい気持ちになっていました。

昨年2月頃から「コロナ」。私は息子に急な予定変更を強いてしまい、なわてで一晩中パニックとなり職員さんに受け止めて頂くことがありました。そして緊急事態宣言。「帰省できず大パニックになる」と大きな不安を抱いたことを覚えています。

なんとか落ち着いて～の願いをこめ、本人へのメッセージを担当の職員さんに託すこともありました。現在、時折声は出ていても大きなパニックにはなっていないと聞き、驚きと共に安堵の毎日です。他の利用者さんと生活を共にし、職員さんの言葉を聞き支援を受け、本人なりに現状を感じ取っているのでしょう。

息子は親から離れて成長していました。厳しいコロナ禍の中で、本人の力を感じることができたのは私にとって大きな気づきでした。

まだまだ日本中が大変で、誰もがそれぞれの環境で辛い毎日です。私は息子にエールを送り続けたいし、息子を支えて下さっているなわて更生園の皆様に、ただ感謝です。

(紺屋 康子)



日々大切さを胸に

日頃は法人各事業所の運営にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。新年度を迎えて3ヶ月ほどが経過としております。新人職員や異動のあった職員も新しい環境に慣れ始めているところです。今年度も新型コロナウイルスの影響を受けながらではありますが、令和3年度事業において感染予防対策を取りながら進めて行きたいと思っております。

さて、事後報告になりますが、3月末に法人内事業所にて、府の定期PCR検査で職員の陽性が判明する事案がありました。保健所・広域行政と連携を取り、幸い、その後、ご利用者・職員への感染拡大も見られることなく、4月初旬で終息しております。今回、他法人の方にもご助言や温かいお言葉など、お力添いを頂戴致しました。書面にてお礼申し上げます。また、関係者の皆様にはご心配をおかけしたこと、お詫び申し上げてご報告に変えさせていただきます。

今回の事案が起こる前にたまたま、感染の起きた施設の後方支援のお手伝いに出向かせて頂いておりました。日頃施設で起こった場合の想定訓練は、頭の中ではしているものの、当然ですが、やはり実際の現場は異なることも体感させて頂きました。ある程度は想定していたとしても、実際は個別具体で状況は異なり対応も変わるという意味では、現場は走りながら、考えながら解答を導き出すように感じます。

ご利用者の健康管理や罹患者の対応、保健所との連携、感染防止対策など、必ずしも想定通りにいくわけでもなく、見通しが持ちにくい状況を、臨場感と併せて現場で見させて頂いたように思います。なによりもコロナという怖さとの間合いをどう取ったらよいのかを僅かばかりではありますが体感させて頂けたかと思えます。幸い、感染拡大に至らず終息を迎えられたことは同じ施設で働く者としては安堵する思いでした。また、この度未経験で足手纏いになるなか、他施設の感染予防に精通された方にご指導を頂きながら安心して後方支援に入らせて頂くことも出来ました。コロナ禍ゆえ、どこともが不安の中で日々の支援に取り組んでいます、そんな状況下だからこそ、同じ思いを共有する横の繋がりの大切さをあらためて感じると共に、お互いさまの思いで連携し、あともう少しを乗り切っていければと思います。

(なわて更生園 園長)

ボランティア御礼

ボランティアセブン様
四條畷山の会様
四條畷お話の会様
真鍋和美様

御礼（御厚志）

ボランティアセブン様
部屋地区自治会様
石堂久代様 杉山乙彦様
西川章子様 瀬野道子様

人事

【入職】

臼井 知郁枝	生活支援員	みなみの工房	1/8付
小田 雅美	看護師	津の辺	3/1付
山田 綾子	看護師	なわて更生園	3/1付
廣川 弘昌	世話人	グループホーム	3/9付
池田 郁	生活支援員	なわて更生園	4/1付
高木 恵美子	調理師	津の辺	5/1付
加藤 信子	看護師	津の辺	5/24付

【退職】

国吉 洋子	看護師	津の辺	
		令和2年	12/31付
高野 晶子	生活支援員	みなみの工房	
		令和2年	12/31付
原田 敬子	看護師	津の辺	1/31付
平岡 理恵	世話人	グループホーム	1/31付
馬木 梅代	看護師	なわて更生園	3/9付
和泉 律子	生活支援員	なわて更生園	3/31付

【異動】

谷中 千恵子 (旧姓：安藤)	なわて更生園→津の辺		4/1付
横川 恭子	津の辺	→なわて更生園	4/1付
花村 昭子	四条作業所	→なわて更生園	4/1付
元田 和文	津の辺	→部屋作業所	4/1付
坂田 裕美	部屋作業所	→四条作業所	4/1付
堀内 良昭	四条作業所	→津の辺	4/1付

津の辺 ♪待望の福祉車両♪



令和2年度日本財団様の福祉車輛助成事業で助成を受けることができ、3月30日に待望の日産セレナ8人乗りが納車されました。ピッカピカの新車は気持ちいいですね。乗り降りがしやすい助手席まで伸びる大型のステップが付いていたり、ドライブレコーダーも標準装備！利用者さんが快適かつ安全に乗っていただけること間違いのない仕様です。

これから日々の送迎はもちろんショートステイでの送迎などでも活躍してもらい、大切に使用していきたいと思います。

日本財団様ありがとうございました。

(上森 敬二)



社会福祉法人 四条囃福社会を支援するための 「賛助会員」 入会のお願い

四条囃福社会は平成2年3月大阪府知事の認可を受け、知的障がい者の育成を目的として、社会福祉事業に理解ある人達や保護者によって設立されました。

今、障がい者問題は、障がい者を保護育成する時代から、社会の構成員として共に地域生活ができるよう福祉サービスの推進が求められる時代となってまいりました。

しかしながら知的障がい者が安心して生活が送れる地域社会への実現にはさらになお多くの方々の御協力、御支援が必要でございます。

つきましては、皆様方には、知的障がい者の現状をご理解いただき本法人活動に、賛助会員として御支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、この会費は、「寄附金」として、本法人の経営する第一種および第二種社会福祉事業に使用させていただきます。

賛助会費

個人：年額 1,000円

団体：年額一口 10,000円

①1口でも結構です

②税法上の特典があります

『賛助会員』 加入の御礼及び協力者一覧

令和2年11月1日から令和3年4月30日までに賛助会員に賛同して下さった方は
20名、総額費は468万円でした。ありがとうございました。

土井義輝様 明石隆行様 藤川朗様 岡崎忍様 紺屋孝之様 吉田進様
近藤笑美子様 日本建産株式会社様 加護野香代子様 金堀則夫様
三上めぐみ様 ことぶき亭様 三栄商事株式会社様 南医院様
北倉武侍様 小山トシエ様 山本ミート様 亀井輝穎様
匿名（順不同）

支援スタッフ募集 知的障がい者への理解のある方!!

支 援 員 年齢 40 歳迄 長期勤続によるキャリア形成を図るための若年者等の募集（3号のイ） 要原付免許 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正 月給／ 251,145 円～ （短大・専門学校卒の場合） 259,748 円～ （4 大卒の場合） （夜勤手当 6,000 円/ 4 回・処遇改善手当含む） （近辺居住の世帯主に限り 住宅手当 20,000 円支給） （試用期間 3 ヶ月） 女性利用者のトイレ・入浴介助等があるため、 女性の方を希望します。	7：00～ 15：30 9：00～ 17：45 13：00～ 21：45 15：00～翌 10：00 シフト制（夜勤有）
支 援 員 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	時給／1,060 円～	9：00～17：45
調 理 員 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	時給／1,040 円～ 事業所での食事提供にかかる全般	6：15～14：00 9：00～17：45 14：00～19：00 シフト制(時間応相談)
世 話 人 勤務地： (大東市内・四條畷市内に複数ヶ所有り)	一泊／16,964 円 利用者の身辺援助、食事提供が主な仕事です。	16：00～翌 10：00 (仮眠有)

【待遇】各種社会保険、賞与年2回、有給休暇有、資格・交通費支給（上限有り）

【応募】まずは下記までお問い合わせ下さい（資格・経験は問いません）

社会福祉法人 **四條畷福祉会** ☎072 - 876 - 3334

コロナ禍でストレスを感じながらも感染症対策をしながら、各所単位で楽しい取り組みを企画しています。

表紙の短冊のようにコロナウイルス感染症が早く終息することを願い、皆さんの笑顔を励みに頑張っていきます！！

機関誌担当